

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習指導Ⅱ		科目コード	50603	担当者	実習指導担当教員	
対象学生	幼児教育学科 保育実習Ⅱ受講学生		学期区分	通年	単位数	1	卒業要件	選択	
							免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
保育実習Ⅰを踏まえ、子どもの観察や関わりの視点を明確にし、実践することを通して保育の理解を深める。保育所における子どもの保育および保護者の支援について総合的に学び、保育士としての自己の課題を明確にする。							受講態度	40%	
							提出物	60%	
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1	子どもの観察や関わりの視点をもちことができる						○		
2	保育技術を高めることができる						○		
3	保育士としての自己課題を明確にできる					○			
4								○	
5									
授業方法									
幼児教育学科教員がオムニバスで授業を行う。 講義やグループ学習、実技、講演など、授業内容に応じた授業方法をとる。									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
「教育・保育実習の手引き」と「実習記録ハンドブック」を熟読する 他の授業内容をしっかりと修得する									
授業計画									
第1回	事前訪問オリエンテーション								
第2回	保育技術実践①（絵本・紙芝居）								
第3回	保育技術実践②（リズム遊び）								
第4回	保育技術実践③（指導計画案）								
第5回	保育技術実践④（指導計画案）								
第6回	保育実習オリエンテーション								
第7回	卒業生講演会								
第8回	保育所長講演会								
第9回	保育技術実践⑤（保健・衛生）								
第10回	保育所事前訪問								
第11回	保育所事前訪問								
第12回	実習報告会								
第13回	保育実習事後指導								
第14回	意見交換会								
第15回	まとめ								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
「教育・保育実習の手引き」 「実習記録ハンドブック」 プリント等					充実した実習にするためには、実習前の学習・準備を十分に行い、実習後に振り返りをして新たな課題に取り組んでいく姿勢が欠かせません。また、日々の学習の積み重ねも大切です。 保育者になるためにしっかり学びましょう。				